

円の周りの長さ

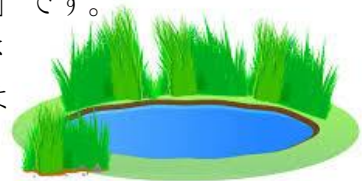
こんな形のクッションがありました。まんまるな形、少し難しい言葉言うと「円」ですね。



このクッションの周りにリボンをつけたいので、周りの長さを知りたくなりました。丸い形なのでものさしは使えません。そこで、針金や縄をまわりにあてて調べました。針金や縄は、自由に曲がるので、クッションの周りに当てて、それを伸ばして長さを調べたのです。

こんな形の池がありました。これもまんまる、「円」です。

この池の周りにフェンスを作りたいくて、周りの長さを調べます。だけど、これも丸い形なのでものさしは使えません。縄をまわりにあてて調べたり、針金をあてたりして調べました。

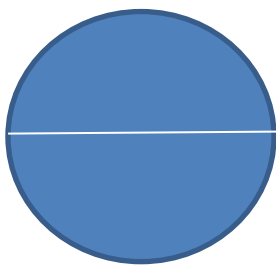


大変だけど、やっと池の周りの長さがわかりました。

次は、こんな形です。町でよく見かけるマンホールです。もう一回一回針金や縄を使うのがめんどうになってきました。



そこである人が考えました。もっと簡単にわかる方法はないかな？と。考え出されたのが、この長さと、周りの長さの関係です。この長さは直径と言います。



直径はものさしで測ることができますね。ある人は、発見しました。円の周りの長さは、直径の3倍くらいだぞ。正確に言うと3.14…倍だぞ。だけど、どうしても正確に何倍かは計算できません。何とか、正確に表そうと努力した人がたくさんいます。

今から4000年も前、約3.14倍だということがわかりました。それから、中国人やインド人、イタリア人等の数学者が、手で計算したり、コンピュータを使って計算したりして、細かいところまでわかってきています。そして、2022年、いくつかの国の人たちが共同でパソコンを使って計算し、小数点以下100兆桁まで計算したそうです。